

# バンクーバー便り 21～『UBC』

バンクーバー時間：2024年5月13日月曜日午前8時30分

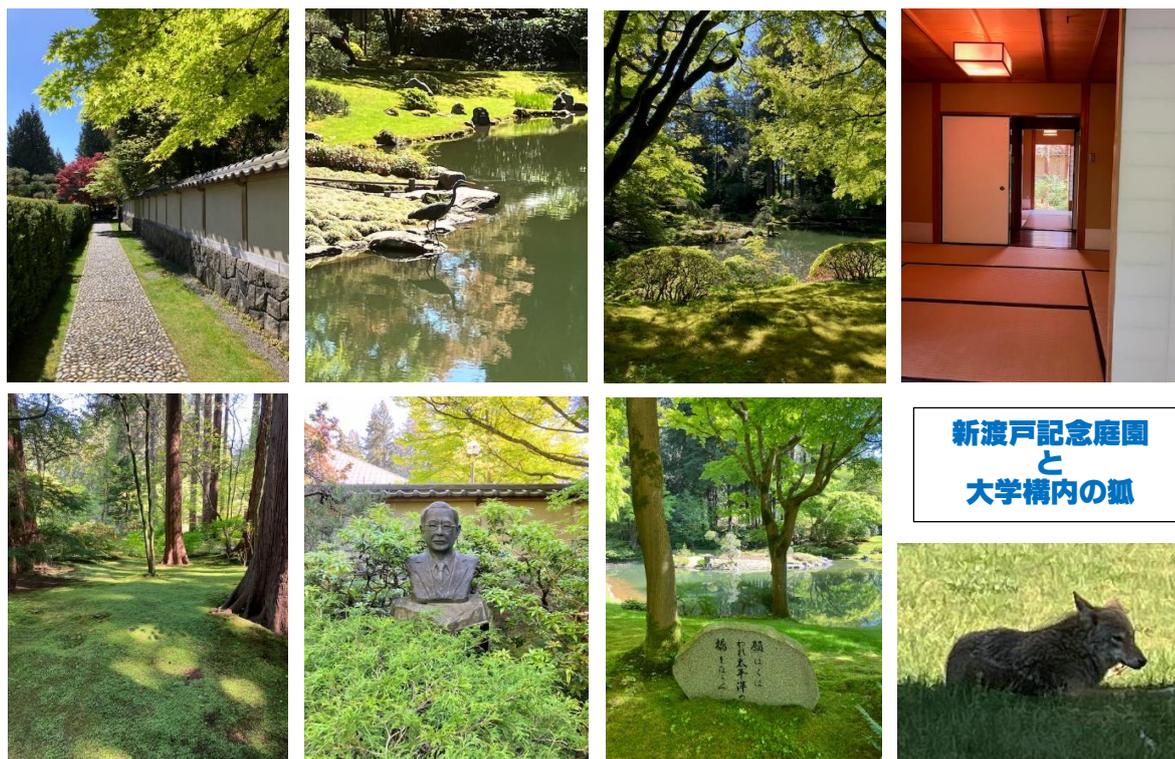
日本時間：2024年5月14日火曜日午前0時30分

皆さん、今日は。お変わりはありませんか。

今回はブリティッシュ・コロンビア大学 University of British Columbia (UBC) についてお話をします。UBC はバンクーバー市西端の太平洋岸にあり、行政上ではバンクーバー市ではなく州の特別管轄区になります。1908年にマギル大学分校として設立され、1915年に独立した大学で、カナダ第2位、世界第35位のランキングにあげられています。キャンパスはバンクーバー校 UBCV で 402ha、2005年設立のオカナガン校 UBCO で 209ha と広大な敷地を持ち、学部生 UBCV4万人と UBCO7千人、院生 UBCV1万人と UBCO700人の計6万人弱の学生が学んでいます。家内が就職したバンクーバー総合病院内にもサテライトキャンパスとして医学部施設があります。



数値的な紹介はこの辺にして、UBC を訪問した時の印象を書きます。バンクーバー校の広大なキャンパスを1回の訪問で見届けることは不可能なので、今回は UBC キャンパスの北側にある新渡戸稲造記念庭園とバラ園を紹介します。新渡戸稲造(1862年9月1日～1933年10月15日)は教育者・農学者で後に国際連盟事務次長を務め、今は5千円札の肖像画にもなっています。新渡戸は「太平洋の架け橋にならん」として国際的な活躍をし、1933年バンフで行われた国際会議出席後ビクトリアに滞在中、出血性膵臓炎で客死しました。このことが縁で出生地の盛岡市と終焉地のビクトリア市は姉妹都市になっています。彼の偉業を記念して UCB 内に日本庭園が造られることになり、この庭園は1960年に急逝した森歆之助が設計した最後の作品となりました。日本庭園の入場料は成人 CA\$7(4～10月の期間、他の期間は無料)です。入園すると大きな瓢箪形の池があり、池の端を回遊するように散策路がつくられ、道の傍には新渡戸ゆかりの石灯籠や石碑、胸像などが置かれています。UBC 植物園の一部となる日本庭園であるため、ソメイヨシノなど多種類の桜木が植えられ、他に東屋や茶室もあります。さらにカナダという土地柄を明らかにするようにスギなどの喬木も周囲にそびえ、深い森林の中に静謐な日本庭園が潜んでいるようです。この日、一羽の野鳥が池の水面に姿を映していました。

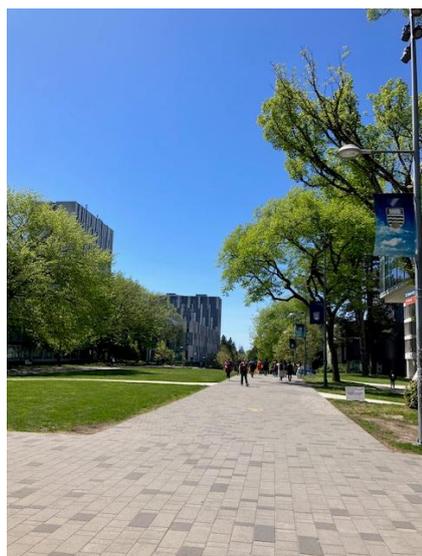


新渡戸記念庭園  
と  
大学構内の狐

バラ園はキャンパスを南北に走るメイン・ロードの北端にあります。メイン・ロードは幅広い大通りで、両サイドには college や school、center があり、大通り両側には小高い樹木の並木道が大通りを囲んで一直線に延びています。大通りの北端には風にたなびくカナダ国旗と遠く青空の下に冠雪した山並みがみえます。バラ園展望台から眺望すると、目前に太平洋に開いた入江とその奥に青山の連なりを見ることができます。眼下に広がる斜面には、そ

の季節になればバラの花が咲き乱れ、馨しい香りが海辺へと流れ込んでいることと思います。今回の訪問は季節が早かったためにバラは咲いていませんが、展望台のベンチから海や山を眺望することで心身ともに大空へ解放されました。

UBC の環境は想像を超えた素晴らしいものでした。バンクーバーの街の喧騒に比べ、大学構内の清涼感は学生たちの希望の輝きと共に、キャンパスの爽やかな空気を一層透き通るように感じさせました。この大学は自然の中で野生動物をも受け入れながら、真理を学び究める人々を育む学府の姿を現しているように思えました。



UBC の University Rd と Main Rd, 時計台



UBC の Main Rd 北端の国旗とバラ園